

行政評価外部評価報告書

平成23年12月1日

江別市行政評価外部評価委員会

江別市長 三好 昇 様

江別市の行政評価に関して、行政評価外部評価委員会による評価を実施し、このたび本報告書を取りまとめましたので報告いたします。

平成23年12月1日

江別市行政評価外部評価委員会

委員長	齊藤	徹
副委員長	井上	宏子
委員	山下	善隆
委員	洞澤	秀雄
委員	小野寺	一男
委員	高田	貢一
委員	清水	萌子
委員	桑名	代江

目 次

外部評価報告書総括	1
-----------	---

行政評価外部評価委員会による評価結果

政策02 明日につながる産業の振興	
施策01 都市型農業の推進	4
施策03 商業の振興	11
施策04 就業環境の整備	15
政策03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実	
施策01 地域福祉の充実	19
政策04 安全で快適な都市生活の充実	
施策01 安全な暮らしの確保	24
施策02 交通環境の充実	30
施策03 危機管理の強化・充実	35
施策04 市街地整備の充実	40
政策05 豊かさや創造性を育む生涯学習環境の充実	
施策04 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造	46
施策05 市民スポーツ活動の充実	51
政策06 市民協働によるまちづくり	
施策01 自助・互助・公助のまちづくり	54
施策03 国内・国際交流の推進	57

資 料

第5次江別市総合計画施策体系及び評価対象施策 施策達成度報告書 主要事業一覧(施策別平成22年度予算)	
---	--

1. 行政評価外部評価委員会の目的

行政外部の専門家及び市民の視点での評価等により、市が実施している行政評価の客観性及び信頼性を確保することを目的としています。

2. 外部評価の視点

本委員会は、評価制度の向上と施策の成果向上に向け、次の視点により評価を行いました。

- ①現状の把握や課題の認識がなされているか
- ②施策・基本事業等の目的や指標は適切か
- ③分析結果を踏まえて論理的な方向性が選択されているか

3. 行政評価外部評価委員会の構成

人数：8名

任期：平成23年7月29日～平成24年3月31日

役職	氏名	所属団体等	分科会
委員長	齊藤 徹	北翔大学短期大学部 学長	第1分科会
副委員長	井上 宏子	消費生活アドバイザー、札幌市オンブズマン	第2分科会
委員	山下 善隆	山下経営コンサルティング事務所 代表	第1分科会
委員	洞澤 秀雄	札幌学院大学法学部 准教授	第2分科会
委員	小野寺 一男	公募委員	第1分科会
委員	高田 貢一	公募委員	第2分科会
委員	清水 萌子	公募委員	第1分科会
委員	桑名 代江	公募委員	第2分科会

4. 外部評価対象の選定

江別市の第5次総合計画には31施策が体系付けられていますが、本年度は第1回委員会において昨年度実施した6施策を除く25施策の中から12施策を選定し、江別市が実施した「施策達成度報告書」に基づき評価を行いました。

また、今年度はより精力的かつ効率的に評価作業を進めるため、8人の委員を2つの分科会に分けて、それぞれ6施策ずつ評価を行いました。

5. 行政評価外部評価委員会の経過

日時	内容
7月29日（金） 14：00～15：30	第1回行政評価外部評価委員会 委嘱状交付、委員長・副委員長の選出、分科会の構成、評価対象施策の選定
8月29日（月） 14：00～16：10	第2回行政評価外部評価委員会【第1分科会】 外部評価「ふるさと意識の醸成と地域文化の創造」、「市民スポーツ活動の充実」

8月30日(火) 14:00~16:00	第2回行政評価外部評価委員会【第2分科会】 外部評価「交通環境の充実」、「市街地整備の充実」
9月26日(月) 14:00~15:50	第3回行政評価外部評価委員会【第2分科会】 外部評価「地域福祉の充実」、「都市型農業の推進」
9月27日(火) 10:00~12:10	第3回行政評価外部評価委員会【第1分科会】 外部評価「安全な暮らしの確保」、「危機管理の強化・充実」
10月 3日(月) 14:00~15:45	第4回行政評価外部評価委員会【第2分科会】 外部評価「自助・互助・公助のまちづくり」、「国内・国際交流の推進」
10月12日(水) 10:00~11:45	第4回行政評価外部評価委員会【第1分科会】 外部評価「商業の振興」、「就業環境の整備」
11月16日(水) 10:00~12:00	第5回行政評価外部評価委員会 これまでの評価を踏まえての審議、報告書としてのまとめ

6. 外部評価の結果

本委員会は、江別市が実施した平成23年度の行政評価について、前記2の視点に基づき、所管部局からの説明を受け、詳細な評価を行いましたので、ここにその結果を報告します。

本委員会は、この取り組みが市民参加による市政運営の一助となり、市民の満足度の向上につながることを期待します。

【総 評】

江別市の行政評価システムは「計画－実行－評価」というPDSサイクルに基づく市政運営の実現を目的に導入されたものです。

本委員会は、市が自己評価した評価結果について、外部の客観的な立場から評価を行ったものですが、各部局においては、評価表が市民への説明責任を果たす重要なツールであるとともに、次年度以降の施策・事業展開の判断材料となることを十分自覚して評価作業が行われており、現状の把握や課題の認識、指標の設定、分析などの評価の視点に照らし、市の評価結果は総じて適切であると考えます。

なお、個々の指摘事項は別紙に示したとおりですが、総体的な傾向としては次の2点が挙げられることから、各部局にあつては、行政評価システムのさらなる充実に向け、改善に心がけられることを望みます。

【改善項目】

① 市民にわかりやすい評価

行政評価制度は、市が取り組む施策や事業の実施状況を自ら点検・評価し、その結果に基づき必要な見直しを行うことにより効率的・効果的な市政運営を行うとともに、一連の経過を市民にわかりやすく説明することにより、行政と市民が情報を共有し、市民参加による市政の実現を図ろうとするものです。

こうした観点から、現在、市が実施している行政評価表を点検すると、評価表の記載内容に専門用語

が多用されていたり、達成状況の分析が不十分であるなど、行政の仕組みに馴染みの薄い市民にはわかりにくい点も見受けられます。

評価表の作成に当たっては、市民の目線に立った説明を心がけるとともに、達成状況の分析なども具体的な実例を挙げるなど、説得力のある説明が望まれます。

② 適切な成果指標の設定

行政が進めるまちづくりは、総合計画の施策に基づいて体系的に取り組まれています。それぞれの施策ごとに、計画期間内においてどこまでの水準を目指すのか、現段階ではどこまで到達したのか、予定どおり進んでいるのか、遅れているのかといった進捗状況を示すのが成果指標です。

こうした指標の設定に当たっては、各施策が目指す結果を端的に表すデータの使用が望ましいところですが、市が設定している成果指標の中には、施策の全体像を反映していないものや、その指標を用いることの意図がわかりにくいものなども見受けられます。

指標の設定に当たっては、既存のデータに適当なものがなかったり、新たにデータを取ることが難しいなどの課題もあるとは思われますが、市民の要望を十分に理解したうえで、可能なかぎり、目指すべきまちづくりの方向を適切に示す指標の設定に努められることを期待します。